

令和4年度

事業報告書



多度津社協キャラクター
たどっくちゃん



社会福祉法人
多度津町社会福祉協議会

目 次

事業の概要	1
1 法人運営事業	2
2 生活福祉資金受託事業	13
3 高齢者等相談受託事業	13
4 募金事業（日本赤十字募金、赤い羽根共同募金、歳末 助け合い募金事業）	13
5 老人健康施設運営受託事業	14
6 介護予防拠点施設指定管理運営事業	15
7 移動支援事業	15
8 障害福祉居宅介護事業	16
9 重度訪問介護事業	16
10 同行援護事業	16
11 訪問介護及び介護予防・生活支援サービス事業	16
12 日常生活自立支援受託事業	17
13 生計困難者に対する相談支援事業	17
14 放課後児童クラブ指定管理運営事業	18
15 社会福祉施設管理運営業務受託事業	19
16 いこいの家指定管理運営事業	20
17 訪問入浴介護事業	20
18 居宅介護支援事業	20
19 おもいやり家事支援受託事業	21
20 おもいやり配食サービス受託事業	21
21 おもいやり声かけ・見守り活動受託事業	21
22 おもいやり買物支援受託事業	22
23 生活支援体制整備受託事業	22
24 生活困窮者自立相談支援事業	23
25 ボランティア養成受託事業	23
26 地域包括支援センター受託事業	24
27 介護予防支援受託事業	35
28 法人後見事業	36
29 成年後見制度利用促進受託事業	36

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、「社会的な孤立の深刻化」「失業・減収した人の増加」「ひきこもりなどの複合的な課題の表面化」等地域にある様々な生活課題が顕在化してきた。

そのような中、本会では、適切な感染防止対策を講じ、高齢者の交流の場である湯楽里の通常運営に努め、地域福祉活動を行うとともに、各種事業を展開した。

法人運営事業では、法令や諸規程等を遵守し、自主的にその経営基盤の強化を図りながら、より住民のニーズに応える社協になるための活動を行い、適正に事業を遂行するとともに情勢に対応した規程の見直しを行うことにより職員の士気向上に努めた。

また、寄附金と社協会費をもとに子どもたちの支援に一層、力を入れ、社会問題である「ひきこもり」については、関係機関と連携を取りながら、親身に寄り添った継続的な支援を行った。

さらに、地区担当制活動についても引き続き精力的に活動し、地域住民との関係づくり・社協の知名度の向上・職員間関係づくりに努めた。

地域福祉事業では、自立相談支援機関として生活困窮に陥っている方々に対して個別に相談対応を行い、フードバンク等での支援を行った。フードバンクについて広く住民に知っていただくこと、特に困窮している子育て世帯への支援として無料配布会を開催した。

また、権利擁護支援の充実を目標に、成年後見制度利用促進受託事業で個別相談会の開催や実務者会で各窓口への相談の情報共有を行い、対応ケースの制度への申立の必要性や対応について検討した。

生活支援体制整備受託事業については第2層協議体の活動支援に力を入れ、介護予防やよりよい生活に必要な地域資源の課題把握に務めた。その他、地域包括ケアシステムの構築を目指す各事業の情報共有と共通課題の解決に向けて開催し、「キーパーソンの居ない人の支援」について権利擁護、意思決定支援の視点をベースに行政と協議した。

放課後児童クラブ事業ではコロナ禍の中、児童の体調管理に努め、手洗いや換気等感染予防対策を徹底し、町と連絡を密に行い学校との協力体制のもと、安全に事業運営を行うことができた。

訪問介護等事業では、介護ソフトシステム（ICT 導入）の運用により、業務効率の向上を図っているが、令和4年度はさらに介護職員が「実績記録」した内容等が次に訪問する介護職員へ申し送られるシステムの運用を開始した。この申し送り機能システムを活用することで、職員間の情報共有が円滑となり利用者へのサービス提供の質の向上に繋がった。

また、特定事業所加算Ⅱの取得を目指しているため、サービス提供責任者は役割を再確認し、登録ヘルパーへのサービス提供に関する指示内容の充実を図るためカンファレンスの開催に努めた。

居宅介護支援事業では、常に運営基準に基づき、利用者の心身状況、置かれている環境に応じて利用者のサービス選択の自己決定、及び家族等の意向に添った計画書を作成した。さらに、計画の見直しを行い、利用者の能力に応じた自立した日常生活が出来るように配慮し支援を行った。

また、新型コロナウイルス感染対策として居宅への訪問を自粛し電話等で対応を行った。スタッフが新型コロナウイルスに感染した際も、他のスタッフで対応し利用者のサービス等が滞る事がないように努めた。

地域包括支援センターは、6月に健康センター1階事務所へ移転し、総合相談事業や介護予防教室、要支援1・2と認定された方のケアマネジメント業務を行った。

また、多くの方が介護予防に関心を持ち、楽しく介護予防に取り組んでいただけるよう男性を対象にした「男・団・Dandy！」教室やいつまでも若く元気に！をテーマにした「ミラクルチェンジ」教室を新たに開催するとともに、自宅から近く参加しやすい地区公民館で介護予防教室等を実施し、多くの方が継続的に参加された。たどつおんどをアレンジした「チョイキタ体操」の普及啓発のため、湯楽里や交流センター、地区公民館等で定期的に教室を実施し、積極的に介護予防の推進に取り組んだ。

令和4年度の部門別事業等の実施状況は、次のとおりである。

1. 法人運営事業

人材育成・多様化する地域ニーズや制度、環境等の変化の中で、地域福祉推進の中心的な担い手としてふさわしい事業を効果的かつ適正に実施していくため、法令や諸規程等を遵守し、自主的にその経営基盤の強化を図った。

1 社協の財務及び人事管理等の組織管理体制の強化

(1) 社協財政の安定化確立に向けた事業の展開

ア 自主財源(寄附及び会費)の確保

(ア) 寄附金

項目	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
香典返し寄附(円)	1,540,000	510,000	160,000	120,000	350,000
一般寄附(円)	313,683	301,548	502,000	784,396	1,796,150

(イ) 会費

社協会員(会費)を募るために、広報紙「社協だより」に記事を掲載したり、関係団体や前年度加入の会員の方にチラシを送付して協力依頼を行った。

会員には、地域福祉活動を共に推進していく構成員であることを示す「社協会員証」を作成して配付し、3,000円以上の会費を納めてくれた方には広報誌に会員名を掲載した。

学校用品リユース事業の利用者が社協会員に加入することにより、社協会員制度を子育て世帯に周知することができて会員数の増加につながった。

		H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
個人会員	会員数	236	256	247	291	297
	会費額	300,000	310,500	213,000	233,000	255,500
団体会員	会員数	41	42	41	43	43
	会費額	97,000	108,000	107,000	122,000	113,000
賛助会員	会員数	10	7	11	12	10
	会費額	43,510	34,000	46,000	57,000	52,692
総会員数(名)		287	305	299	346	350
会費合計(円)		440,510	452,500	366,000	412,000	421,192

イ 使用目的を設定した寄附の募集

使用目的を設定された寄附については、目的に沿った活用を行った。

貧困児童や子どものために目的を指定された寄附金については、学校用品リユース事業、子ども食堂への支援、巣立ちのサポート活動に活用し、困窮者支援のために目的を指定された寄附金については、フードバンク等に活用した。

(2) 職員の資質向上に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議・研修が中止されることが多かったが、WEBでの会議や研修に参加し資質向上に努めた。

ア 職場内外研修の計画的実施

(ア) 労務管理研修等

○ 社会労務士による指導

概ね月1回労務士の指導の下、人事管理や各種規程等の改正について適正に対応した。

○ 各種研修

労働関連法の改正などについてセミナーや説明会に参加して適正に対応した。

(イ) 各種専門分野の研修

【職員研修】

研修内容	回数
私らしく生きるために今できることを考えるセミナー	1回
コミュニティソーシャルワーカー研修会	2回
生活支援コーディネーター研修	2回
いきがい・助け合いサミット in 東京	2回
年金・健康保険委員研修会	1回
電子帳簿保存対応セミナー	1回
LINE WORKS 説明会、研修会	2回
重層的支援体制整備事業研修会	2回
子ども食堂支援策解説セミナー	1回
子どもの未来応援ネットワーク研修	3回
中堅職員研修	2回
会計研修	4回
市区町村社協管理職員研修	4回
放課後児童支援員研修	4回
HACCP実践講習会	1回
食品衛生責任者養成講習会	1回

【施設管理等】

研修内容	回数
安全運転管理者講習会	2回
防火管理者講習	4回
入浴施設の衛生管理に関する講習会	1回

【生活福祉資金、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援事業】

研修内容	回数
生活福祉資金・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業担当者定例会	4回
生活困窮者支援体制整備連絡会	1回
生活困窮者自立支援協議会連絡会	2回
日常生活支援事業新規登録生活支援員研修会	1回
生活困窮事例検討会	2回
生活保護初任現業員研修	1回
特例貸付・困窮者自立支援事業担当者会	1回

【権利擁護】

研修内容	回数
権利擁護支援プレ研修	5回
成年後見制度利用促進体制整備研修	2回
権利擁護連絡会議	1回
成年後見研修	1回
成年後見制度講演会	1回
身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定支援ガイドラインのセミナー	1回
成年後見制度フォーラム	1回
権利擁護中核機関等連絡会議	1回

【介護関係】

研修内容	回数
介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	4回
介護労働者雇用管理責任者講習	2回
サービス提供責任者 実践力 研修会	2回
障害者虐待防止研修	1回
障害福祉サービス提供責任者・管理者研修会	2回
訪問介護・入浴サービス提供責任者・管理者研修会	3回
中讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会	1回
多度津町居宅介護支援事業者研修会	3回
多度津町主任介護支援専門員及び管理者連絡会	2回
多度津町自立支援型地域ケア会議	2回
在宅医療・介護連携推進事業 多職種研修会	1回
介護支援専門員資質向上事業	1回
介護支援専門員・管理者研修会	4回

【介護課常勤職員連絡会】

研修内容	回数
特定事業所加算について	4回
I C T導入の取り組みについて	1回
業務内容について	1回
苦情ケースの対応について	1回
今後の訪問介護事業所等の人材確保について	1回
サービス提供責任者・カンファレンスについて	1回
サービス提供責任者の役割等について	1回
事業所のサービス提供の改善及びヒヤリハットについて	1回
令和5年度業務報告	1回

【介護課職場内研修】

専門研修受講職員が研修内容等を他職員に課内で研修を行った。

研修内容
介護・福祉コンプライアンス及び利用者のプライバシー保護について
特定事業所加算（個人別研修計画等について）
特定事業所加算について
感染症予防対策について
虐待防止・身体拘束について
緊急時の対応について
福祉・介護現場における感染症対策
介護・福祉コンプライアンス及び利用者のプライバシー保護について
業務報告及び振り返り
緊急の対応について（応用編）
終末期・看取りを考える
認知症の方とのコミュニケーション
記録の仕方について

【地域包括支援センター】

研修内容	回数
コロナ禍におけるフレイル予防	1回
介護支援専門員研修	14回
虐待対応実務者会	2回
高齢者虐待対応現任研修	1回
自立支援を見据えたアセスメント強化研修・介護支援専門員資質向上研修会	1回
中讃地域主任介護支援専門員連絡勉強会	1回
在宅医療・介護連携推進事業研修会	1回
チームオレンジ研修	1回
香川県若年性認知症自立支援ネットワーク研修会	1回
認知症地域支援推進員研修	1回
ケアプランデータ連携システム説明会	1回

(ウ) 法令遵守及び個人情報の保護の徹底

○各福祉サービス事業に関する苦情解決事業

第三者委員及び職員が、福祉サービス事業所における苦情解決力の一層の向上のために「福祉サービス苦情解決事業研修会」WEB研修に参加した。

・主 催：香川県運営適正化委員会

・開催日：令和4年12月5日

イ 各部署間の情報共有・連絡調整のための業務改善会議の開催

月に1度、総務課・地域福祉課・介護課・地域包括支援センターの係長以上の職員が定例会に参加し、各事業の情報共有及び組織全体にかかわる企画・調整や、新型コロナウイルス感染症対策や改善を必要とする業務内容等について協議を行い、部署間の相互連携を強化した。

ウ 新人職員研修の実施

(ア) 職場内研修の実施

社会人として電話や窓口対応等のマナーや各種手続きについて研修を行った。

○日時：令和4年4月1日、令和4年7月14日

(イ) 県社協開催の社協職員基礎研修への参加

社協の基本理念やめざすべき職員像についての理解を深めるための研修に参加した。

○日時：令和4年5月12日

エ 県内社協との協議・連携

(ア) 会議等

研修内容	回数
地域福祉推進委員会	5回
県内社協連絡協議会	1回
常務理事・事務局長会議	2回
四国地域福祉実践セミナー	1回
四国ブロック市町村社協研究協議会	2回
社協活動全国会議	1回

(イ) 県内社協の実践発表会への参加

○ 香川県社会福祉協議会が県内の社協を集めて日ごろの活動等について発表し研究する実践研究発表会において、活動の発表を行った。

開催日：令和5年1月20日

発表者：19名（WEBにより全県内社協に配信）

○ 丸亀市社会福祉協議会実践発表会へ参加した。

開催日：令和4年7月7日（WEB開催）

(3) 人事考課制度の見直しと適正運用

ア 組織の活性化と職員の士気高揚に反映できる考課事項の見直し

考課制度を運営していく中で出てきた改善点や考課内容について、業務改善会議等で意見を求め、より効果のある事項への見直しに向けての協議を行った。

イ 適正な人材配置、指揮命令系統の整備、組織の構築

年2回「行動考課シート」により人事考課を行い、考課結果を昇給に反映させた。

また、「職務評価シート」により昇任・昇格基準を数値化して適切に評価し、組織の指揮命令系統の整備を行った。

ウ 全職員に対する面談の実施

職員の意見を風通しの良い職場づくりに反映し、個々の職務内容の確認と指導を行うため全常勤職員に対して、管理職による個人面接を実施した。

正規職員については、人事考課の結果をもとに評価点や改善点を具体的に伝えるなどとして人材育成に反映した。

エ 給与支給規程の見直し

給与支給規程については、多度津町の一般職の職員の給与に関する条例等を参考にすることが規定されているが、長期間にわたり基本給等の見直しがなされておらず隔たりが生じていたことから、多度津町や県内社協の基本給等を参考に給与支給規程の全部改正を行い職員の士気高揚を図った。

オ 職務内容に応じた人材の確保

職務内容に応じた資格を有する職員の採用を適宜行うとともに、正規職員1名の採用(令和5年度採用)を行った。

(4) 定款・規程等の整備

法改正や制度改正より、理事会の承認を経て規程等の改正等を行った。

(5) 香川労働局からの受監

香川労働局が実施する調査を受監し、より適正な事業運営を行った。

令和4年4月28日

2 役員・評議員との連携

(1) 理事会、評議員会の開催

ア 理事会

回数 開催日	議事
第1回 決議の省略	第1号議案 多度津町社会福祉協議会 定款の一部改正について 第2号議案 多度津町社会福祉協議会 経理規程の一部改正について 第3号議案 多度津町との業務委託契約の締結について 第4号議案 令和4年度 第1回評議員会の開催について
第2回 6月3日	第1号議案 令和3年度 事業報告の承認について 第2号議案 令和3年度 会計決算の承認について 第3号議案 令和4年度 6月補正予算(案)の同意について 第4号議案 多度津町地域包括支援センター運営規程の一部改正について 第5号議案 多度津町との業務委託契約等の締結について 第6号議案 令和4年度 第2回評議員会(6月定時評議員会)の開催について
第3回 11月11日	第1号議案 令和4年度 11月補正予算(案)の同意について 第2号議案 令和4年度 第3回評議員会の開催について
第4回 3月15日	第1号議案 多度津町社会福祉協議会職員給与支給規程の一部改正について 第2号議案 多度津町社会福祉協議会職員給与支給規程の全部改正について 第3号議案 多度津町社会福祉協議会(指定訪問介護事業所)運営規程の一部改正について 第4号議案 多度津町社会福祉協議会(指定介護予防・生活支援サービス事業所)運営規程の一部改正について 第5号議案 多度津町社会福祉協議会(指定移動支援事業所)運営規程の一部改正について

	第6号議案 多度津町社会福祉協議会（指定居宅介護・指定重度訪問介護・指定同行援護事業所）運営規程の一部改正について 第7号議案 多度津町社会福祉協議会（指定訪問入浴介護事業所）運営規程の一部改正について 第8号議案 多度津町社会福祉協議会（指定居宅介護支援事業所）運営規程の一部改正について 第9号議案 多度津町地域包括支援センター運営規程の一部改正について 第10号議案 会社役員賠償責任保険の更新について 第11号議案 令和4年度 3月補正予算（案）の同意について 第12号議案 令和5年度 事業計画（案）の同意について 第13号議案 令和5年度 資金収支予算（案）の同意について 第14号議案 令和4年度 第4回評議員会の開催について
第5回 決議の省略	第1号議案 多度津町との業務委託契約等の締結について

イ 評議員会

回数 開催日	議事
第1回 決議の省略	第1号議案 多度津町社会福祉協議会 定款の一部改正について
第2回 6月23日	第1号議案 令和3年度 事業報告の承認について 第2号議案 令和3年度 会計決算の承認について 第3号議案 令和4年度 6月補正予算（案）の承認について
第3回 11月24日	第1号議案 令和4年度 11月補正予算（案）の承認について
第4回 3月23日	第1号議案 令和4年度 3月補正予算（案）の承認について 第2号議案 令和5年度 事業計画（案）の承認について 第3号議案 令和5年度 資金収支予算（案）の承認について

(2) 役員等の社協事業への参加・促進

新型コロナウイルス感染症対策による行事の中止等により、社協事業への参加をいただくことはできなかったが、多度津町社会福祉大会については、理事・監事の参加をいただき開催した。

(3) 監事による監査（開催場所：社会福祉協議会ボランティア室）

開催日	内容
5/24	令和3年度 事業執行状況及び会計決算の監査

3 災害時における組織体制整備の強化

(1) BCP計画（事業継続計画）策定に向けた研修

ア BCP計画策定研修

開催日：令和4年7月4日

イ 災害・防災研修等

開催日	研修内容
4/18	災害ボラ開設時の調査
8/10	災害傾聴ボランティア研修
10/26	災害対応担当者連絡会
12/13	災害ボランティア基礎講座
1/16	災害ボランティアセンター運営者養成研修
1/24	災害ボランティアに関する研修会

(2) 防災活動の実施

各地区担当者会において、通学路の危険個所の確認を行うなど、災害時の対応を見据えた活動を行った。

4 多度津町社会福祉協議会強化発展計画の計画的・継続的な推進

より地域に根ざした社協になるための組織改革を計画的に推進するために策定した「多度津町社会福祉協議会 強化発展計画」に沿って継続的に改革活動を行った。

全常勤職員が「多度津」、「豊原」、「四箇」、「白方・高見・佐柳」の4地区に分かれ、各地区の強化発展計画に基づき活動を行った。

また、令和5年度から始まる強化発展計画第3次アクションプランを各地区担当者会で協議し、リーダー、サブリーダー会で多度津町社会福祉協議会強化発展計画を策定した。

○多度津町社会福祉協議会強化発展計画（令和5年度～令和7年度）抜粋

目指す地域の姿 **多世代が互いを思いやり、優しいつながりのある多度津町**

		現状と課題	目標	具体的な取り組み
活動	包括的支援体制	住民に社協が何をしているところか十分に理解されていない	職員が一人ひとりCSWとしての意識を持ち活動に取り組む	・CSW研修会への参加する ・地区社協や民生委員活動等に参加する
	予防の取組(福祉教育)	住民ニーズが把握できておらず福祉教育の場が作れていない	各地区が情報を共有して活動を行っていく	・各種研修を受講し、福祉教育について勉強する ・各世代の生活課題に関する講演会、体験型講座を開催する
災害対応		職員の防災知識が不足している	発災時の対応ができるよう研修に参加し、災害時に地域を支える体制の強化を図る	・災害関係の研修会に参加する ・災害時の支援に向けて、地域に社協職員を知ってもらう ・BCP策定、災害ボランティアセンターマニュアルを作成する
人材・組織体制		縦割り組織が改善されていない	部署間の情報共有を行う	・職員から出たニーズや課題について協議する
財源・組織経営		職員の経営に対する意識が薄い	所属部署の決算状況を把握する	・社協業務についてわかりやすいパンフレットを作成し、目的寄附を募る ・継続して職員の意識改革を行う

(1) 地区担当制の計画的かつ継続的実施

ア 各地区の活動

【多度津地区】

地区担当者会：12回

主な活動内容

○福祉教育の開催

- ・多度津校区四つ葉クラブ児童への「認知症キッズサポーター養成講座」を開催した。
- ・多度津校区四つ葉クラブ児童と多度津校区放課後児童クラブ3年生への「福祉体験学習」を開催した。

○地域活動への参加

- ・老人クラブ主催の清掃活動に参加して地域との繋がりを強化した。
- ・老人クラブの方と一緒に多度津小学校、多度津幼稚園へ世代交流(伝承遊び)に参加した。

- 多度津小学校の通学路の危険箇所の把握のために児童会に参加し下校に同行し、「多小っ子 あんぜんMAP」を完成させ、学校へ届けた。



【豊原地区】

地区担当者会：10回

主な活動内容

○福祉保健推進員研修会への参加

○「花さくあいさつ運動」の展開

花の水やり等をしながら登下校時の子どもと挨拶を交わす「花さくあいさつ運動」を継続的に実施し、協力者を募った。

○新たな福祉教育の実施にむけた活動

ゲームを通じてお金のことを考える機会を持ってもらい、多様な価値観があることを学んでもらう「マネープランゲーム」を子どもたちだけでなく幅広い世代に広めていくために、勉強会を行い内容等について検討を重ねた。



【四箇地区】

地区担当者会：11回

主な活動内容

○地域調査

四箇地区全自治会で、助け合いアンケートを実施し地域の実態把握に努めた。アンケート結果を自治会に返し自分たちの自治会で今後どのような活動ができるかを話し合った。

○避難訓練の実施

一つの自治会をモデル地区として、水害を想定しどこが危険個所で、自治会内の独居世帯の方が自治会館まで避難をすることができるのか等を話し合いながら訓練を行った。

○地域活動への参加

小学校の三世代交流事業に老人クラブの方と一緒に参加した。福祉保健推進委員会の研修会や地区社協の研修会に参加し、地域の方と顔の見える関係づくりを行った。



【白方・高見・佐柳地区】

地区担当者会：10回

主な活動内容

○地域の行事への参加

白方地区で開催されたイベントや地域サロン活動、海岸寺や清掃ボランティア等に参加し地域住民との交流を深めることに努めた。

○瀬戸内国際芸術祭 海のテラスのボランティアへの参加

○福祉保健推進員研修会への参加



(2) 社協の「見せる化」

ア 社協キャラクター「たどっくちゃん」を活用した社協活動の紹介

多度津町社会福祉協議会に親しみを持ってもらうために、オリジナルキャラクター「たどっくちゃん」を広報紙やチラシに使用するとともに、オリジナルグッズ(バック、缶バッチ、クリアファイル)を社協会員等に配付した。

社協職員の活動を住民に広く知ってもらうために、全職員にオリジナルキャラクター「たどっくちゃん」ジャンパー、「社協がゆく」ポロシャツの着用を促し、社協職員のアピールを行い、公用車にたどっくちゃんステッカーを貼付して社協の見せる化をさらに推進した。

イ 企業とのコラボレーション

○イオン黄色いレシートキャンペーンへの登録

多度津町社会福祉協議会の認知度向上のため、イオン系列会社が行っている「イオン黄色いレシートキャンペーン」に継続的に登録した。

還元された商品券は、地区担当者会で使用する物品を購入した。

(3) ホームページ、SNSを活用した情報発信

ホームページを幅広い世代に閲覧してもらえるように、見やすく・わかりやすく・柔らかいイメージにリニューアルし、Facebook、Instagramで日ごろの活動を情報発信した。

また、情報を受け取りやすくするため封筒や社協だよりなどにQRコードを掲載した。

Facebook



Instagram



TASYAKYO_8501

ホームページ



5 住民との協同

(1) 各社会福祉関係団体等との連携

- ア 民生委員・児童委員協議会
定例会への参加 9回
- イ 香川県共同募金会

開催日	研修内容
7/13	共募事務局長会
8/4	共募従事者研修会
2/21	共募事務局長会

ウ 日本赤十字社

開催日	研修内容
4/22	日本赤十字社香川県支部中讃地区会費募集事務打合せ
2/27	日本赤十字社香川県支部地区区分区担当者会議

(2) 地区社協との連携及び活動推進

地区担当職員が地域に出向いて各地区社協と交流を深め、連携の強化と関係づくりに努めた。

ア ふれあい・いきいきサロン活動推進への支援

地域の方々が、いきいきと元気に暮らせることを目的にボランティアと協働運営している活動に、社協職員等を派遣して活動の充実に努めた。

○ 多度津地区社協いきいきふれあいサロン（実施場所：町地域交流センター）

開催日	内容	講師	参加者数
4/18	元気体操	少林寺	14
7/11	軽体操	三野 久美子	18
9/12	歌って笑ってリラックス	三崎 めぐみ	28
2/20	包括元気塾	包括職員	23
3/6	ゲーム	桜サポーター会	15

延べ参加者数：98名

○ 四箇地区社協いきいきふれあいサロン（実施場所：四箇地区公民館）

開催日	内容	講師	参加者数
2/7	チョイキタ体操	包括職員	22

(3) 福祉保健推進員の社協事業への協力と活動の充実

「誰もが明るく幸せに暮らせる町づくり」を推進している福祉保健推進員と連携を持ち、福祉活動の推進を図った。総会は書面決議となったが、研修会に地区担当職員が出席して顔の見える関係づくりに努めた。（町・保健センターと共催）

地区	開催日	場 所
豊原地区福祉保健推進員会役員会	5/17	豊原農村婦人の家
多度津町福祉保健推進員連絡協議会総会	5/19	町民健康センター
四箇地区福祉保健推進員研修会	9/1	四箇公民館
白方地区福祉保健推進員研修会	9/26	まこと PLAZA
四箇地区福祉保健推進員研修会	11/4	四箇公民館
多度津町福祉保健推進員連絡協議会役員会	12/21	多度津町役場
白方地区福祉保健推進員研修会	2/22	白方公民館
豊原地区福祉保健推進員会役員会	3/16	豊原農村婦人の家
多度津町福祉保健推進員連絡協議会役員会	3/20	多度津町役場

(4) 地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画で各地区で出された課題について、地区担当者会において活動した。

(5) 町内ボランティア活動への参加

○RITA 学園高等学校、多度津ライオンズクラブが実施する桜川清掃に参加した。

実施日：令和4年9月11日(日)、令和5年3月12日(日)

6 ひきこもり支援体制の構築

ひきこもりサポーター養成研修を受講しサポーターとして登録している職員3名が、研修会に参加したり関係機関との情報交換を行い、連携体制の構築と情報共有を図った。

(1) 町内外ひきこもり機関との連携

多度津町やひきこもり支援関係機関との情報交換を行い、つながりを強化した。

(2) 各種研修への参加

研修内容	実施回数
ひきこもりサポーターフォローアップ研修	4回
ひきこもり支援者研修会	4回
多度津町ひきこもりサポート会議	5回

(3) 支援状況

本人及び家族、関係機関からの相談対応を行った。複合的な問題を抱えている世帯に寄り添い、関係機関との連携を図りながら電話連絡や訪問による個別支援、家族支援を行った。

○相談件数：2件

○支援件数：20件

7 寄附者の意向を反映した活動

(1) 学校用品リユース事業(自主財源を活用した多度津町社会福祉協議会独自事業)の運用

子どもの進学準備や制服等の買換えが困難だという声を受け、子どものために使用してほしいと使用目的を指定された寄附金と社協会費を活用して、独自の「学校用品リユース事業」を令和3年1月から開始し、事業周知と利用促進を行った。

○寄附物品：約450点(令和4年度中)

○利用者：43名(令和4年度中)

ア 事業を広く周知するための広報啓発活動

稼働により平日利用しにくい保護者のために、小・中学校の懇談会実施日や休日に学校用品展示イベントを開催した。

開催については、学校等を通じて町内の全児童等にチラシを配付し周知した。

○展示会イベント

開催日：令和4年12月21日、令和4年12月22日、令和5年2月25日

イ 物品寄附の受入れ

○回収ボックスの増設

回収ボックスを役場・健康センター・町内金融機関に増設し、提供しやすくするとともに、チラシを設置し事業を周知した。

○PTA関係者等からの協力

学校PTA役員が学校行事の際に学校用品の回収を呼びかけ、提供に協力を受けた。

(2) 子どもたちへの支援

多度津町内にできた子ども食堂等に食材等の提供をしたり、「社協だより」で広報するなど支援を行った。また、開催日に職員が参加するなど活動を支援した。

8 福祉教育の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中学生による施設体験学習(ワークキャンプ)は中止したが、社会福祉現場実習の実習生の受入と地区担当者会による福祉教育を継続的に行うとともに、自立する高校生等を対象にした巣立ちのサポート活動を開始した。

(1) 社会福祉士「社会福祉現場実習」実習生の受入れ

社会福祉士を目指す学生の「社会福祉現場実習」を行った。

○実施期間：令和4年6月20日～令和4年7月1日

令和4年7月11日～令和4年7月29日

○実習人数：2名

(2) 地区担当者会による福祉教育の実施

ア 認知症サポーターキッズ養成講座

○開催日：令和4年7月25日

○開催場所：多度津小学校 2階視聴覚室

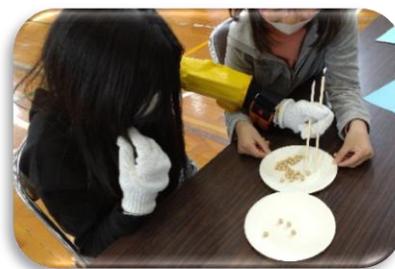
○参加者：多度津校区四つ葉クラブ児童30名

イ 福祉体験学習（車イス・アイマスク体験）

○開催日：令和5年3月27日

○開催場所：多度津小学校体育館

○参加者：多度津校区四つ葉クラブ・多度津校区放課後児童クラブ児童27名



(3) 巣立ちのサポート活動「豚汁の会」の開催

子どもたちが必要としている支援について学校と協議し、10月より「豚汁の会」を開催した。

高校卒業後に一人暮らしを始める生徒や県外から転入し単身で生活している生徒等に料理教室を開催して、一緒に食することで自炊への意欲付けや孤食対策に繋がった。

開催日	10/5	11/2	12/14	2/13	3/10
参加者	17	15	11	9	9

9 社会福祉大会の開催及び参加

(1) 第53回 多度津町社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記念講演を開催して多くの方を招集することはできなかったが、規模を縮小して福祉大会を開催し、多年にわたり社会福祉の向上に貢献された方々を表彰した。

○開催日：令和4年11月11日（金）

○開催場所：多度津町民健康センター2階 多目的ホール

○表彰：個人表彰 16名、団体表彰 1団体、感謝状 7名2団体
多度津町「赤い羽根募金箱をつくろう」コンクール 4名

(2) 香川県社会福祉大会への参加

○開催日：令和4年10月27日（木）

○開催場所：レグザムホール 小ホール

○表彰：個人表彰1名（多度津町社協からの推薦）

10 その他の社会福祉事業

(1) 老人安全杖の交付

民生委員・児童委員の協力を得て歩行が困難な方へ安全つえを交付した。

交付件数： 3件

(2) 福祉器具等貸出事業

障害者や高齢者等の方の身体的な負担軽減を図るため、福祉器具を無償貸出した。

車椅子(更新を含む)	福祉車輛
62件	30件

(3) マイクロバス車輛等貸出事業

町内の福祉に関係する組織・団体に、各種活動を促進・充実できるように貸出した。

マイクロバス：1件 ワゴン車：0件

※マイクロバスは、瀬戸内国際芸術祭の期間中（9月29日～11月6日）の土日・祝日に来場者の送迎に使用

2. 生活福祉資金受託事業 《県社協委託事業》

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的として貸付制度を行った。また、資金の貸付けによる経済的な援助にあわせて、資金を借受けた世帯の相談支援を行った。

令和2年3月25日から実施している、新型コロナウイルスの影響による生活福祉資金貸付制度の特例緊急小口資金及び特例総合支援資金（生活支援費）については、令和4年9月末日をもって受け付けを終了した。9月以降は本則での申し込みが増えており、それについての相談、申請支援や、特例貸付の償還免除、猶予等の申請支援を行った。

【生活福祉資金の相談及び貸付状況】

No	資金の種類		相談件数	申請件数	決定件数
1	総合支援資金	生活支援費	3	1	0
2		住宅入居費	1	0	0
3		一時生活再建費	2	0	0
4	福祉資金	福祉費	6	1	1
5		緊急小口資金	8	2	2
6		緊急小口資金(コロナ関係)	25	25	18
7		総合支援資金(コロナ関係)	21	17	13
8	教育支援資金	教育支援費	0	0	0
9		就学支度費	1	1	1
10	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0
11	臨時特例つなぎ資金	臨時特例つなぎ資金	0	0	0
合 計			67	47	35

3. 高齢者等相談受託事業 《町委託事業》

高齢者等が抱えるさまざまな問題に対し、弁護士が相談に応じ適切な助言を行う相談会を毎月行った。

【実施状況】 ・相談日時：毎月第3木曜日 10時30分～12時

・取扱件数：19件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ相談者数
相談者数	4	1	1	1	1	1	3	1	4	1	0	1	19

4. 募金事業（日本赤十字募金、赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金事業）

1 共同募金配分金事業

- (1) 多度津町社会福祉大会の開催
- (2) 福祉教育の推進
- (3) 広報紙「社協だより」の発行による効果的な啓発活動の推進
広報誌の発行（年4回）

2 各種募金事業

種 別	実施期間	1世帯当り目標額	目標額	達成額	達成率
日本赤十字社会費	令和4年 6月1日～6月30日	500円	2,942,000円	2,572,400円	87.4%
赤い羽根共同募金	令和4年 10月1日～10月31日	900円	5,265,000円	4,698,413円	89.2%
歳末たすけあい募金	令和4年 12月1日～12月31日	300円	1,700,000円	1,548,600円	91.0%

3 赤い羽根共同募金募集活動

(1) 街頭募金活動

実施日	令和4年10月3日	令和4年10月7日
実施場所	ザ・ビッグ多度津店店頭	ピカソ多度津店店頭
参加者	民生委員児童委員・社協職員	民生委員児童委員・社協職員
募金金額	7,924円	9,091円

令和4年度は、ビッグ多度津店とピカソ多度津店の協力を得て、二日間に分けて実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童は参加せず、民生委員・児童委員6名の協力を得て、感染対策をして実施した。

(2) 「赤い羽根募金箱をつくろう」コンクール

次世代を担う多度津町の子どもたちに、赤い羽根募金箱の制作を通じて、共同募金運動に関心を持ち、理解を深めてもらうとともに、子どもたちの創造力を育てる機会を提供することを目的に、香川県共同募金会主催のコンクールに応募した多度津町内の小学生の作品のうちから、県共同募金会の入賞作品を除いた作品について審査をおこなった。表彰審査委員会にて審査した結果、4名の児童の作品が入賞し、11月11日開催の多度津町社会福祉大会にて表彰した。

(3) 募金箱への協力

各校区放課後児童クラブと四つ葉クラブに、赤い羽根についての啓発チラシを配布し、募金活動への協力を呼びかけ、10月の一か月間に募金箱を設置し、募金運動を実施した。

また、町民健康センター 湯楽里内でも募金箱を設置し、募金への協力を呼びかけた。

〈募金額〉 各放課後児童クラブ・四つ葉クラブ募金箱・・・2,979円

4 広報紙の発行

広報紙「社協だより」の発行

- ・Vol. 79 令和4年 7月22日発行
- ・Vol. 80 令和4年10月14日発行
- ・Vol. 81 令和4年12月23日発行
- ・Vol. 82 令和5年 3月10日発行

5. 老人健康施設運営受託事業 《町委託事業》

60歳以上の町民の方が仲間との交流を図り入浴や娯楽を通じて、より健康で生きがいを持った生活をおくるための憩いの場となるよう老人健康施設運営を行った。

各種行事を計画したり、血圧測定などの健康チェックを実施したりすることで、利用者の健康づくり増進に努めた。

1 老人健康施設(湯楽里)利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数		20	19	22	20	22	21	20	20	20	19	19	21	243	
利用者数	男	当日券	16	7	11	14	9	6	11	18	16	17	21	8	154
		回数券	171	166	173	133	158	145	171	157	178	164	182	219	2,017
	女	当日券	7	8	7	2	3	4	4	5	4	5	7	5	61
		回数券	377	366	388	249	320	292	372	351	357	332	370	419	4,193
合計		571	547	579	398	490	447	558	531	555	518	580	651	6,425	
バス利用者数		349	329	346	398	244	252	324	292	306	270	282	353	3,745	
1日平均人数		28.6	28.8	26.3	19.9	22.3	21.3	27.9	26.6	27.7	27.3	30.5	31.0	26.4	

※7/13～7/15は新型コロナウイルスの影響のため臨時休館

2 施設内行事の拡充

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
買い物ツアー	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	50
ボディコンディショニング教室	1	2	1	1	2	1	2	1	1	1	2	2	17
健康運動教室	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
脳と体を元気にする体操教室	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11
いきいき健康体操	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
体いきいき健康体操	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
和紙ちぎり絵	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
カレンダー作り	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
みんなで楽しく歌おう	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	25
フットセラピー	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
チョイキタ体操	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
らせん流操体法												1	1

※らせん流操体法は3月開始の新行事

3 軽食事業における利用者への対応

利用者の要望を取り入れ、栄養バランスを考えたメニュー作りに取り組んだ。

また、食中毒防止のため定期的に検便等を実施し衛生管理に配慮した。

(単位：個)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
うどん	73	56	56	36	32	36	55	42	47	44	63	66	606
定食	202	400	454	346	444	419	424	417	430	378	407	463	4,784
カレー	22	5	7	8	14	2	9	3	3	4	6	13	96
コーヒー	84	119	157	148	176	152	176	163	229	216	181	233	2,034
お寿司	75	104	103	77	96	102	117	110	99	92	101	116	1,192
その他	593	89	116	76	142	89	49	208	212	189	182	196	2,141
合計	1,049	773	893	691	904	800	830	943	1,020	923	940	1,087	10,853

4 敬老週間記念行事

例年開催している敬老週間記念行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

6. 介護予防拠点施設指定管理運営事業 <<町指定管理>>

高齢者をはじめとする地域住民の自立した日常生活の助長、介護予防及び健康保持・増進等を図るため介護予防拠点施設（四箇地区いきがい健康館）の適正管理に努めた。

利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
すまいるライフ	0	64	57	58	0	0	0	0	0	0	0	0	179
さくら倶楽部	0	40	54	51	0	0	0	0	0	0	0	0	145
ハッピー教室	0	10	0	0	0	9	12	0	0	13	0	0	44
ぴかぴか健康体操	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
その他	10	0	0	0	0	0	8	11	0	0	0	0	29
合計	10	114	111	121	0	9	20	11	0	13	0	0	409

7. 移動支援事業

移動に困難がある方に対して、ヘルパーを派遣して丸亀城・こんぴらさん及び善通寺等への外出支援を行い、また、自立した日常生活を営めるよう買い物・余暇活動（カラオケ）等の支援を行った。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
利用者数	5	5	5	4	4	5	5	5	6	4	4	4	56

8. 障害福祉居宅介護事業

介護が必要な障害者の自宅へ訪問して、自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、入浴・排泄・食事等の介助、また生活・介護に関する相談助言を行い、さらに病院へ行く際の介助として通院等介助の支援を行った。(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
利用者数	9	9	10	10	10	10	12	13	12	12	12	15	134

9. 重度訪問介護事業

障害支援区分が4以上である重度肢体不自由者（人工呼吸器による呼吸管理を行っている方など）を対象に、排泄・食事の介護・パソコン操作支援等の介護を総合的に行う。

令和4年度は実績がなかった。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10. 同行援護事業

重度の視覚障害を持つ障害者に対して、ヘルパーが同行し、買い物等の移動のために適切かつ効果的な支援を行った。また、視覚障害のある方は、移動のために必要な情報を得ることができないため、ヘルパーが必要な情報を提供する支援も行った。(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
利用者数	2	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	16

11. 訪問介護及び介護予防・生活支援サービス事業

要支援・要介護状態になっても、住み慣れた自宅で自立した生活が営めるように、ケアプランに沿った身体介護・自立生活支援のための見守りの援助及び生活援助サービスを提供した。

また、サービス提供により心身機能の維持向上等を図り、身体的・精神的負担の軽減に努めた。

利用者の合計数は、昨年度と比較して2名の増加に留まった。新規の利用者は増えたが新型コロナウイルス禍の影響により利用者の施設への入所、病院への入院等も多かった。

全介護職員のサービスの質を向上させるため「感染症対策」、「認知症」、「緊急時の対応」等の研修の充実を図った。さらに、管理者及びサービス提供責任者である常勤職員については、職員自身の資質向上のために常勤連絡会として毎月1回程度、「医行為の解釈」、「ICT活用方法」、「特定事業所加算」等について自主的に勉強会を開催した。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	
訪問型	事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	
	要支援1	14	14	17	17	18	18	16	15	13	13	11	11	177
	要支援2	18	18	17	18	16	16	16	18	19	18	17	17	208
	計	33	33	35	36	35	35	33	34	33	32	29	28	396
訪問介護	要介護1	11	10	12	13	13	14	15	12	14	14	14	15	157
	要介護2	10	11	11	10	10	10	9	10	9	8	13	11	122
	要介護3	4	5	6	10	8	8	9	9	9	7	7	6	88
	要介護4	3	3	3	3	4	3	3	2	2	0	1	0	27
	要介護5	4	4	5	4	4	3	3	4	3	3	3	3	43
	計	32	33	37	40	39	38	39	37	37	32	38	35	437
合計	65	66	72	76	74	73	72	71	70	64	67	63	833	

12. 日常生活自立支援受託事業 《県社協委託事業》

認知症高齢者・障害者など判断能力が不十分な方々を対象に、地域で安心して自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用に関する手続きの代行や助言、日常的な金銭管理などの援助を行うとともに、利用者から預かっている預貯金通帳については、保管場所や残高等を毎月確認し、不祥事案防止に努めた。

関係機関と連携を図ることで、利用者の判断能力が低下した際には、法人後見事業へスムーズに移行できる途切れない支援を行った。

町外の施設への転居などにより昨年より利用者が3名減少しており、内訳は認知症高齢者8名、知的障害者5名、精神障害者11名合計24名である。令和4年度も前年に引き続き精神障害者についての相談が多かった。

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、訪問での支援を継続した。

【日常的な金銭管理サービス及び書類等の預かりサービス利用状況】 (単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	27	27	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	301
相談援助件数	76	66	78	67	83	75	67	73	77	62	55	74	853

・専門員

2名

・生活支援員

4名

13. 生計困難者に対する相談支援事業

既存の制度では対応できず「生活のしづらさ」を抱え、支援を必要とする方を支援し、トータルで支える仕組みづくりを構築するため、香川県内の社会福祉法人が協働して「香川おもいやりネットワーク事業」を実施し、逼迫した状況にある相談者には経済的援助（現物給付）を行い支援した。また、フードバンクの希望者が前年度から2.5倍と増加したが、広報紙「社協だより」等で周知啓発に努め、個人提供者が増えたことで必要な方へ提供することができた。

○ 総合相談・支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	1	2	3	8	10	6	8	11	6	8	4	14	81
経済支援	1	0	0	2	1	2	0	1	0	3	2	3	15
フードバンク	0	2	3	6	9	4	8	10	6	5	2	11	66

(延べ件数)

○ 食料・日用品等無料配布会

フードロス対策、物を大切にすることを形にすることフードバンクについて、住民に知って頂くこと特に子どものいる世帯への困窮者支援として、無料配布会を開催した。

食品(202kg)日用品(67kg)を37名の町民の方と6か所の法人・企業等の方に提供して頂き、その他に町内施設より困窮支援に関する寄附を頂いたこともあり、当日参加者47世帯にお渡しすることができた。また、相談支援につなげられるよう現在の困り事についてのアンケートを実施した。

- ・開催日：令和5年2月25日(土) 10時～12時
- ・場所：町民健康センター2階 湯楽里内
- ・参加者：47世帯(単身世帯：4世帯 複数世帯：43世帯)
- ・アンケート記入：8世帯

○ おもいやりネットワーク会議

民生委員児童委員、施設、社協等がつながることで「生活のしづらさ」を抱え、支援を必要としている方たちの相談や地域の課題を解決する仕組みづくりについて、話し合う会議を開催した。内容は、高齢者世帯や認知症の方の増加に伴い、以前より地域課題の1つとして上がっている「キーパーソンの居ない人」を取り巻く問題についてとりあげ、架空の事例についてのグループワークを行い、各立場でのできることつながりたい相手などを話し合った。

- ・開催日：令和4年6月28日(火) 13時30分～15時30分
- ・場所：町民健康センター2階 多目的ホール
- ・内容：「キーパーソンの居ない人を地域で受け止めるために必要なこと」
- ・参加者数：31名

14. 放課後児童クラブ指定管理運営事業《町指定管理》

学校や家庭との連携を図りながら、健全な遊びを通じて健康増進や情操を豊かにするなど、児童福祉の向上と施設管理運営を行った。

1 開館状況と利用数

(1) 平日及び第4土曜日の利用状況 (施設利用実人数)

(単位：名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1ヶ月平均 実人数	
多 度 津	童 放 課 後 児 童 ク ラ ブ	小1	18	18	18	19	19	18	18	18	20	19	17	19	18
		小2	18	17	19	21	19	19	19	19	20	20	18	19	19
		小3	12	12	13	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13
	ク 四 つ 葉	小4	14	11	11	16	14	10	10	10	11	11	9	12	12
		小5	12	12	12	13	12	11	11	11	11	11	11	11	12
		小6	8	8	8	9	7	8	8	8	8	8	8	8	8
		計	82	78	81	92	85	79	79	79	83	82	76	82	82
豊 原	童 放 課 後 児 童 ク ラ ブ	小1	20	20	20	22	22	20	20	20	22	22	20	21	21
		小2	30	31	32	38	34	30	31	31	31	31	31	31	32
	ク 四 つ 葉	小3	17	14	15	19	14	15	15	15	16	15	14	15	15
		小4	26	25	23	29	26	22	22	22	25	24	21	23	24
		小5	13	10	9	16	14	8	8	8	8	8	8	8	10
		小6	12	10	10	11	9	8	8	8	8	8	7	7	9
		計	118	110	109	135	119	103	104	104	110	108	101	105	111
四 箇	童 放 課 後 児 童 ク ラ ブ	小1	17	18	17	18	18	16	16	16	17	16	16	16	17
		小2	23	22	22	25	21	23	23	23	24	24	23	25	23
		小3	20	20	20	21	18	19	19	19	18	18	18	19	19
	ク 四 つ 葉	小4	9	8	8	9	9	7	7	7	7	6	6	6	7
		小5	8	7	6	9	8	6	6	6	7	7	5	6	7
		小6	8	7	7	10	8	6	7	7	5	5	5	4	7
	計	85	82	80	92	82	77	78	78	78	76	73	76	80	
白 方	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	小1	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	6	7	7
		小2	5	5	5	6	6	5	5	5	6	6	5	6	5
		小3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		小4	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5
		小5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		小6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	24	24	24	25	25	23	23	23	25	25	22	24	24	
合 計		小1	62	63	62	66	66	61	61	61	67	65	59	63	63
		小2	76	75	78	90	80	77	78	78	81	81	77	81	79
		小3	50	47	49	55	47	48	48	48	48	47	46	48	48
		小4	55	50	48	60	55	44	44	44	48	46	41	46	48
		小5	37	33	31	42	38	29	29	29	30	30	28	29	32
		小6	29	26	26	31	25	23	24	24	22	22	21	20	24
		計	309	294	294	344	311	282	284	284	296	291	272	287	296

(2) 第4土曜日の開館

7月、8月を除く毎月第4土曜日を開館するようにした。

(3) 小学校休業日の開館

小学校の長期休業中並びに振替休日については、朝から開館し児童の受け入れを行った。

2 放課後児童クラブ・四つ葉クラブにおける広報活動

(1) 情報誌の発行

「ふれんどだより」発行 (年3回発行)

(2) ホームページ、社協だより活用による放課後児童クラブ・四つ葉クラブの活動の紹介

3 放課後児童クラブ行事の計画的な実施

開催月	行事名	実施館	開催月	行事名	実施館
4月	新入生歓迎会	多度津・四箇・多度津四つ葉・豊原四つ葉・四箇四つ葉	11月	リース作り	多度津
	甘茶を味わう	豊原	12月	リース飾りつけ	多度津四つ葉・四箇四つ葉
	読み聞かせ	豊原		折り紙教室	豊原
5月	読み聞かせ	豊原		お楽しみ会	多度津
6月	七夕短冊作成	多度津四つ葉・四箇四つ葉		大掃除	多度津・四箇・多度津四つ葉・四箇四つ葉
7月	お楽しみ会	多度津四つ葉・豊原四つ葉		雑巾がけレース 大掃除	豊原
	七夕笹飾り	多度津・四箇・多度津四つ葉・四箇四つ葉		クリスマス会	全館
	読み聞かせ・紙芝居	豊原		千支のうた 読み聞かせ「千支のはじまり」	豊原
	水遊び	豊原		遊びの宅急便	多度津四つ葉
	ぬりえめいろ	豊原		凧あげ	多度津四つ葉・豊原四つ葉
	認知症キッズサポーター養成講座	多度津四つ葉		お楽しみ会	四箇
8月	工作教室	多度津・豊原・四箇・多度津四つ葉・四箇四つ葉	絵馬づくり	多度津四つ葉	
	折り紙教室	豊原	2月	節分豆まき	多度津・豊原・四箇・四箇四つ葉
	シャボン玉・組み立て飛行機	豊原		バレンタインデー	多度津・豊原・四箇・多度津四つ葉・四箇四つ葉
	クイズ大会	豊原		ビンゴ大会	四箇
	はがきづくり	四箇四つ葉	3月	遊びの宅急便	豊原
	発掘教室	豊原		お楽しみ会	多度津・豊原・四箇・豊原四つ葉
	お楽しみ会	多度津・四箇・白方・多度津四つ葉・四箇四つ葉		お別れ会	多度津・白方・多度津四つ葉・四箇四つ葉
	ビンゴ大会	四箇		遊びの宅急便	多度津・四箇
9月	お月見会	豊原		福祉体験学習	多度津・多度津四つ葉
10月	ハロウィンパーティー	多度津・豊原・四箇・白方・多度津四つ葉・四箇四つ葉			
	工作教室	多度津			

4 避難訓練の実施

毎月、火災を想定した避難訓練と消火訓練を実施した。

5 新型コロナウイルス感染症対策

- 館内の換気と消毒の徹底
- 児童受け入れ時の体調聞き取りと児童及び職員の体温測定
- マスク着用、手洗い、うがい、手指消毒の徹底
- 密集を少なくするために、小学校の運動場等を借りあげて屋外で遊ぶ時間を確保
- 館内では、密接しないよう出来る限り間隔をあけて過ごさせるなどの感染防止対策を講じた。

6 作業療法士による放課後児童クラブ巡回相談等支援事業

香川県作業療法士会の会員が毎月1回、4地区放課後児童クラブを巡回し、子どもたちの普段の活動を観察しながら、子どもたちにとってより過ごしやすい放課後児童クラブとなるよう支援員の関わり方や環境整備等について、会員による助言を受けた。

作業療法士会と放課後児童クラブ職員で年2回、報告と打ち合わせ会を行った。

15. 社会福祉施設管理運営業務受託事業 《町委託事業》

町民の健康と福祉の拠点として建設された総合的な社会福祉施設である多度津町社会福祉施設（町民健康センター）の維持管理、貸出業務を行った。

○ 避難訓練の実施

施設内で火災が発生したことを想定した避難・消火訓練を消防の指導のもと実施した。

開催日：令和5年2月27日

16. いこいの家指定管理運営事業 《町委託事業》

高齢者や地域住民の教養・レクリエーション等の場として、「高見いこいの家」「佐柳いこいの家」の適正管理を行った。(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
高見いこいの家	25	33	29	75	40	29	60	75	33	15	27	20	461
佐柳いこいの家	2	20	10	20	20	13	0	0	0	0	25	20	130
合計	27	53	39	95	60	42	60	75	33	15	52	40	591

17. 訪問入浴介護事業

看護職員1名、介護職員2名が訪問入浴車で自宅に訪問し、入浴が困難な方に対し、身体の洗身・清潔の保持を行い、心身機能の維持向上に努めた。また、利用者の情報共有のために必要なカンファレンスを開催し、職員間の連携に努めた。

(単位：名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
利用者数	要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	要介護4	3	3	3	2	2	2	2	3	4	4	4	4	36
	要介護5	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45
合計		8	8	8	7	7	7	7	8	9	9	9	9	96

18. 居宅介護支援事業

利用者の意思に基づいたケアマネジメントを行い、住み慣れた居宅において日常生活を最適に営むため、必要なサービスが適切に利用できるように支援を行った。ICT導入をしたことで業務等の効率化を図り、また研修等に参加し個々のスキルアップに努めた。前年度の延べ利用者数より46名利用者数が増えた。

1 居宅介護支援事業

(単位：名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
支援者数	要介護1	47	47	48	51	50	47	48	54	52	56	54	52	606
	要介護2	44	45	44	44	45	45	43	43	42	44	44	40	523
	要介護3	12	12	12	13	12	14	15	12	11	11	15	19	158
	要介護4	10	9	10	9	10	11	11	13	11	9	8	8	119
	要介護5	7	8	9	8	8	7	6	8	7	6	7	7	88
合計		120	121	123	125	125	124	123	130	123	126	128	126	1,494

2 町住宅改修支援事業

介護保険住宅改修理由書の作成を行った。

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住宅改修支援件数	居宅	0	0	1	2	0	2	0	1	1	1	1	0	9
	包括	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2

3 離島介護サービス提供促進事業

離島での安定的な介護サービス提供体制の確保を図るために航路費に相当する額の助成を受け、佐柳島の利用者に対して、ケアマネジャー及び介護員が赴き、訪問介護サービス等を提供した。

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護サービスステーション (訪問介護等)	5	5	6	5	4	6	5	5	5	5	4	6	61
地域包括支援センター (介護予防支援)	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3

19. おもいやり家事支援受託事業 《町委託事業》

町内の65歳以上の方で、介護認定に該当しない高齢者で、町が実施する基本チェックリストの該当となった方へ対して、介護員が自宅を訪問して日常生活に関する支援などを行う。令和4年度は実績がなかった。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

20. おもいやり配食サービス受託事業 《町委託事業》

多度津町おもいやり配食サービス事業実施要綱及び多度津町障害者等配食サービス事業実施要綱に基づき、介護保険制度において要支援1以上の認定を受けている非課税世帯の高齢者並びに重度の心身障害者及び精神障害者等に対し、栄養バランスのとれた食事を定期的に提供するとともに、日常の安否を確認し、自立と生活の質を確保した。事業者から手渡しにて配達し、声をかけることで利用者の様子・安否確認を行い、いつもと様子が違うなど気になることがあれば、業者から連絡をもらい、担当ケアマネジャーに伝達するなどの対応を実施した。

また、原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対して、現況の聞き取りを行ったところ、経営が厳しくなっているとの声が相次いだため、内容を町に報告した。その結果、「多度津町食材費高騰対策支援金」が町より事業者へ支給されることとなり、今後もおもいやり配食サービスが安定的に継続できるよう働きかけた。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数
ひとり暮らし高齢者	502	510	591	524	526	499	500	516	514	469	461	522	6,134
高齢者世帯	102	100	110	106	152	113	118	104	92	83	109	137	1,326
合計	604	610	701	630	678	612	618	620	606	552	570	659	7,460
身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	11	14	32
精神障害者	36	40	42	37	44	37	39	41	40	35	38	39	468
知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	40	42	37	44	37	39	41	40	42	49	53	500

21. おもいやり声かけ・見守り活動受託事業 《町委託事業》

地域全体で高齢者に対する声かけや見守り等の活動を行うことによって、日常的に安否確認し、有事の際は迅速に対応できる体制を確保することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して、自立した生活を継続できるよう支援した。

週1回の安否確認の電話や訪問による健康相談を実施して孤独感の軽減を図るとともに、希望者には家族に写真をメールして近況を知らせた。

また、声かけ・見守りボランティアによる定期的な訪問は、コロナ禍の影響により回数が減ってしまったが、電話連絡だけでは、実際の利用者の様子がわからないこともあり、社協職員による定期的な声かけや訪問を継続した。

また、利用者との電話連絡が取れない等、安否確認で訪問する際、包括支援センターや民生委員とも連携し、家族へ連絡をしたり、日常生活での困り事等の相談があれば、ケアマネジャーや介護保険サービスへのつなぎ等の利用者対応を実施した。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	32	32	31	33	31	29	29	30	30	30	28	27	362
連絡回数	109	118	116	111	111	100	99	107	106	113	102	113	1,305
遠方家族への近況連絡	5	5	5	4	3	3	3	3	3	2	2	2	40
ボランティア訪問回数	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
社協訪問回数	6	6	1	6	3	3	1	3	2	2	1	2	36

声かけ・見守りボランティア数 11名

22. おもいやり買物支援受託事業 《町委託事業》

近隣に店舗がなかったり、心身機能の衰え等の理由により、買い物が困難な高齢者等の買い物支援を行い、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援した。

週1回程度、老人健康施設「湯楽里」から町内ショッピングセンター等へバスで買い物に行き、帰りは自宅近くに送っている。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ数
実施回数	4	3	5	3	4	4	4	4	4	4	4	5	48
利用者数	67	46	73	47	52	58	67	63	60	58	59	76	726

1回あたりの平均利用者数 約15名

23. 生活支援体制整備受託事業《町委託事業》

地域包括ケアシステムの理念に基づき、誰もが住み慣れた地域で、自立した生活が送れるよう地域の互助を高め、住民主体のサービスが、活性化されるよう地域全体で支え合いの体制づくりを推進することを目的とする町全体の第1層協議体と小学校区ごとの第2層協議体がある。

令和4年度は第2層の活動支援について力を入れた。また、介護予防やよりよい生活に必要な地域資源の課題把握のため、地域包括支援センターが実施する「自立支援型地域ケア個別会議」に参加した。事業担当者会は、地域包括ケアシステムの構築を目指す各事業の情報共有と共通課題の解決に向けて開催し、「キーパーソンの居ない人の支援」について権利擁護、意思決定支援の視点をベースに協議した。

○第2層協議体

・多度津地区（たどつ助け合いの会）の会議内容

開催日	内容	参加者数
4/25	多度津小学校児童の下校時の見守りについての課題	11
10/17	下校時の見守りについて具体策の検討	13
11/15	見守りの目的／開始時期について	10
1/13	保護者アンケートより／見守りのチームづくりについて	10
2/15	代表者決定／チーム名決定／見守り時期と方法の確認	18
3/2	目印「腕章」の周知方法／腕章の作成について	17
3/27	各団体での周知の確認／腕章について／新1年生の下校について	19

・四箇地区の会議内容

開催日	内容	参加者数
4/6	助け合い（困り事）アンケート調査の実施について	9
6～7月	各地区へ全戸配布、回収、集計	5
3/14	アンケート結果について	

・白方地区（チーム白方）の会議内容と活動

開催日	内容	参加者数
6/9	移動サービスの報告／これまでのふり返り／解決していきたい事	7
7/21	旧白方幼稚園の清掃活動	17
9/24	旧白方幼稚園の清掃活動	13

○自立支援型地域ケア個別会議への参加

第1層生活支援コーディネーターとして参加

開催日	12/7	1/11	3/1
-----	------	------	-----

○地域包括ケアシステムに関する事業担当者会の開催

参加機関：健康福祉課、高齢者保険課、社協（地域包括支援センター、地域福祉課）

開催日	内容	参加者数
4/11	情報共有／おもいやりネットワーク会議の内容について	10
5/16	情報共有／おもいやりネットワーク会議の内容について	10
6/21	情報共有／おもいやりネットワーク会議の打ち合わせ	10
8/1	情報共有／キーパーソンがいない人の支援、支援者向け講演会について	9
9/6	情報共有／支援者向け講演会について／ガイドラインについて	9
9/27	情報共有／講演会について／救急連絡先の確認について	10
10/20	情報共有／講演会について／緊急時の対応について	10
11/22	情報共有／講演会について／役割分担会議について	10
12/12	情報共有／講演会について／役割分担会議について	10
1/11	情報共有／役割分担会議について／死後事務に必要な内容／お守り手帳の活用	9
2/13	情報共有／不安を解消するためにツールとその課題について	9
3/14	情報共有／不安を解消するためにツールとその課題について	10

24. 生活困窮者自立相談支援事業

県内9町社会福祉協議会と香川県社会福祉協議会とで協議体を作り、必須事業である「自立相談支援事業」を香川県から受託した。各町社会福祉協議会に相談支援員・香川県社会福祉協議会に主任相談支援員を配置して事業に取り組んだ。

1月よりコロナの特例貸付の償還が始まり、償還免除・猶予の相談をきっかけに自立相談支援が必要と判断した方については、定期的なモニタリングを行った。

○相談件数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談対応(延べ)	9	7	15	12	16	12	7	11	6	8	5	6	114
うち新規	6	5	7	6	3	2	5	10	3	2	2	3	54

新規プラン作成件数： 4件（うち3件は住居確保給付金申請者）

25. ボランティア養成受託事業〈町委託事業〉

地域の中で生活していく上で、直面する生活援助を必要とする方に対して、地域の関係機関の協力のもと援助が行えるボランティアの養成を目的とする講座を開催した。地域課題の解消に向けて、住民主体で創られた「移動サービス チョイ来た」の活動について支援した。また、介護予防の活性化、高齢者等の社会参加のきっかけづくり、施設と地域住民のつながり強化、地域活性などを目的としたボランティアポイント制度を行った。

○ 地域支え合い運転ボランティア養成講座

- ・開催日時：令和4年11月21日（月） 12時30分～14時30分
- ・場 所：多度津自動車学校
- ・参加人数：7名

○「移動サービス チョイ来た」活動支援

・役員会

開催日	内容	参加者数
5/26	状況報告／新規利用登録・利用者の心身状況に変化が出た場合の対応について	9
7/25	状況報告／緊急時の対応・新庁舎での対応・サービス内容について	9
8/29	状況報告／運転ボランティアの卒業時期・説明会・サービス内容について	9
9/26	状況報告／説明会・サービス内容について	8
11/17	状況報告／説明会・運転ボランティア・ボランティア募集について	9
1/16	状況報告／運転ボランティア養成講座・今後の運行内容について	9
3/2	状況報告／運転ボランティア・今後の運行・総会について	8

・説明会

開催日	内容	参加者数
6/6	新規利用者登録説明会	30
11/21	運転ボランティア登録説明会	12

運転ボランティア 18名 受付ボランティア 38名で活動中。5月に2回目の新規利用者の募集を行い、サービスの利用登録者は92名となった。

運行は週2回1日4便で、稼働率92%。

○ ボランティアポイント制度

対象の活動を行った時間でポイントを発行。協力店(町内の高齢者、福祉関連店5か所)にて使用できるチケットとなる。登録者は102名、チケット利用者は70名と前年度の1.5倍となり、活動継続のモチベーションの一助となっている。

26. 地域包括支援センター受託事業 《町委託事業》

包括的支援事業、介護予防事業等により、要介護状態または要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態になった場合においても可能な限り地域において、自立した日常生活を営むことができるように支援に努めた。

1 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防普及啓発事業

心豊かに生きがいのある生活を送ることができることを目的に65歳以上を対象として、運動による体力の向上や地域交流の促進、介護予防の知識の普及、地域における自主的な介護予防に資する活動の育成・支援に努めた。

【すまいるライフ教室】

- ・講師：杉浦 ひろみ (健康運動指導士)
- ・実施場所：1コース 四箇地区いきがい健康館
- ・実施回数：12回

開催日	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14
参加者数	12	10	11	10	9	12
開催日	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26
参加者数	9	10	10	8	9	12

延べ参加者数：122名

- ・実施場所：2コース 地域交流センター
- ・実施回数：12回

開催日	9/6	9/13	9/20	9/27	10/4	10/11
参加者数	14	14	14	14	14	14
開催日	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22
参加者数	14	11	12	13	13	12

延べ参加者数：159名

- ・実施場所：3 コース 地域交流センター
- ・実施回数：12 回

開催日	12/20	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7
参加者数	11	12	9	11	10	12
開催日	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/28
参加者数	9	10	12	12	9	10

延べ参加者数：127 名

【さくら倶楽部 認知症予防教室】

- ・講 師：塩見 道代（シナプソロジーアドバンスインストラクター）
- ・実施場所：1 コース 四箇地区いきがい健康館
2、3 コース 地域交流センター
- ・実施回数：33 回

開催日	5/12	5/19	5/26	6/2	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28
参加者数	7	7	9	7	9	7	8	6	6	7	7
開催日	9/1	9/8	9/15	9/29	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/24
参加者数	10	7	7	7	8	8	8	7	7	8	7
開催日	1/5	1/12	1/19	1/26	2/2	2/16	3/2	3/9	3/16	3/23	3/30
参加者数	6	8	7	7	6	4	5	5	7	6	6

延べ参加者数：231 名

1、2、3 コース 調理実習

- ・実施場所：町民健康センター キッチンルーム
- ・実施回数：3 回

開催日	6/9	9/22	2/9
参加者数	8	6	6

延べ参加者数：20 名

【わくわく教室】

- ・講 師：杉浦 ひろみ他（ボディケアプランニング）
- ・実施場所：町民健康センター
- ・実施回数：23 回

開催日	5/6	5/20	6/3	6/17	7/1	7/15	8/5	8/19	9/2	9/16	10/7	10/21
参加者数	15	16	14	12	14	14	17	14	17	17	16	15
開催日	11/4	11/18	12/2	12/16	1/6	1/20	2/3	2/17	3/3	3/17	3/31	
参加者数	14	15	15	18	20	13	17	8	14	15	12	

延べ参加者数：352 名

【じっくり教室】

- ・講 師：杉浦 ひろみ他（ボディケアプランニング）
- ・実施場所：町民健康センター
- ・実施回数：23 回

開催日	5/6	5/20	6/3	6/17	7/1	7/15	8/5	8/19	9/2	9/16	10/7	10/21
参加者数	14	14	14	14	13	13	16	18	15	15	17	17
開催日	11/4	11/18	12/2	12/16	1/6	1/20	2/3	2/17	3/3	3/17	3/31	
参加者数	16	14	16	17	15	18	15	15	18	19	16	

延べ参加者数：359 名

【さくら倶楽部フォローアップ教室 認知症予防教室】

- ・講師：道久 仁美（シナプソロジーアドバンスインストラクター）
- ・実施場所：町民健康センター
- ・実施回数：20回

開催日	4/25	5/2	5/16	6/6	6/20	7/4	8/1	8/15	9/5	10/3
参加者数	14	11	11	12	12	13	15	9	16	13
開催日	10/31	11/7	11/21	12/5	12/19	1/16	2/6	2/27	3/6	3/20
参加者数	14	14	16	17	17	13	15	14	16	15

延べ参加者数：277名

【ミラクルチェンジ】

- ・講師：杉浦 ひろみ（ボディケアプランニング）
- ・実施場所：総合福祉センター
- ・実施回数：4回

第1弾

開催日	4/5	4/12	4/19	4/26
参加者数	15	15	14	14

延べ参加者数：58名

- ・実施場所：地域交流センター
- ・実施回数：4回

第2弾

開催日	8/2	8/16	8/23	8/30
参加者数	18	13	15	15

延べ参加者数：61名

【男・団・Dandy】

- ・講師：たくまシーマックス コーチ陣
- ・実施場所：町民健康センター

第1弾

開催日	6/8	6/15	6/22	6/29
参加者数	8	7	9	8

延べ参加者数：32名

- ・実施場所：地域交流センター

第2弾

開催日	11/2	11/9	11/16	11/30
参加者数	6	6	7	5

延べ参加者数：24名

【レッツ チョイキタチャレンジ】

- ・講師：包括職員
- ・実施場所：多度津町総合福祉センター
- ・実施回数：7回

開催日	4/6	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25
参加者数	19	17	15	18	12	10	10

延べ参加者数：101名

【ハッピー教室】

- ・講師：たくまシーマックス コーチ陣
- ・実施場所：地域交流センター
- ・実施回数：6回

開催日	8/8	9/12	11/14	12/12	2/13	3/13
参加者数	26	23	21	17	18	21

延べ参加者数：126名

- ・講師：三野 久美子（公認スポーツ指導者）
- ・実施場所：豊原 農村婦人の家
- ・実施回数：9回

開催日	7/6	8/3	9/7	10/5	11/2	12/7	1/4	2/1	3/1
参加者数	9	7	11	9	9	8	9	12	13

延べ参加者数：87名

- ・講師：たくまシーマックス コーチ陣
- ・実施場所：四箇地区公民館
- ・実施回数：10回

開催日	5/18	6/15	7/20	8/17	9/21
参加者数	16	14	12	9	13
開催日	10/19	12/21	1/18	2/15	3/15
参加者数	12	13	13	9	12

延べ参加者数：123名

- ・講師：森 明美（健康運動指導士）
- ・実施場所：四箇地区いきがい健康館
- ・実施回数：7回

開催日	5/27	7/22	9/30	10/28	11/25	1/27	3/24
参加者数	7	10	7	10	10	11	9

延べ参加者数：64名

- ・講師：後藤 直美（コンディショニングインストラクター）
- ・実施場所：白方地区公民館
- ・実施回数：6回

開催日	10/14	11/11	12/9	1/13	2/10	3/10
参加者数	12	9	9	11	12	11

延べ参加者数：64名

【いきいきサロン】

- ・実施場所：青木団地（青木団地公民館）
- ・実施回数：2回

開催日	内容	講師	参加者数
6/3	くらしのセミナー：長寿社会を目指して	香川県消費生活センター	26
10/7	脳トレ・ゲーム	桜サポーター会	9

延べ参加者数：35名

【頭スッキリ・体シャッキリ教室】

- ・実施場所：家中・日の出地区（11区公民館）
- ・実施回数：9回

開催日	内容	講師	参加者数
4/12	チョイ来た移動サービスについて	第1層協議体	18
5/10	健康づくり体操	森 明美	18
6/14	ロコモ予防	かがわ総合リハビリテーション 福祉センター	18
7/12	包括元気塾	多田羅・齋中	15
9/13	手品	池内 好美	19
10/11	オカリナ演奏	森口 澄子	19
11/8	歌って笑ってリラックス	三崎 めぐみ	21
1/10	ゲーム	桜サポーター会	17
2/14	観梅会		中止
3/14	フリートーク		25

延べ参加者数：170名

- ・実施場所：東白方本村自治会場
- ・実施回数：12回 ※9/22 県保健医療大学学生2名含む

開催日	内 容	講 師	参加者数
4/21	包括元気塾	多田羅・渡邊	6
5/26	元気体操	少林寺	8
6/23	歌って笑ってリラックス	三崎 めぐみ	10
7/28	寝たきり予防	篠丸 達也	8
8/25	股関節の痛みと改善	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	7
9/22	包括元気塾 チョイキタ体操	包括職員	10 ※
10/27	伸ばせ健康寿命	町職員 管理栄養士	7
11/24	軽体操	三野 久美子	8
12/22	くらしのセミナー：悪質商法対策	香川県消費生活センター	5
1/26	摂食・嚥下訓練	こどもとおとな医療センター	6
2/24	包括元気塾	包括職員	5
3/23	脳トレ	桜サポーター会	5

延べ参加者数：85名

【多度津地区婦人会健康学級】

- ・実施場所：地域交流センター
- ・実施回数：9回

開催日	内 容	講 師	参加者数
5/12	くらしのセミナー：食品ロスを減らそう	香川県消費生活センター	16
6/9	元気体操	少林寺	11
7/12	自力整体	大塚 眞知子	3
9/8	包括元気塾 チョイキタ体操	包括職員	9
10/13	包括元気塾 チョイキタ体操	包括職員	9
11/10	防犯教室	丸亀警察署	10
12/8	肩関節と痛みと改善	かがわ総合リハビリテーション福祉センター	13
1/12	寝たきり予防	篠丸 達也	中止
2/9	脳トレ	桜サポーター会	11
3/9	おなかの中から健康長寿	ヤクルト	12

延べ参加者数：94名

【いきいきふれあいサロン】

- ・実施場所：桜川東団地集会場
- ・実施回数：2回

開催日	内 容	講 師	参加者数
4/7	包括元気塾	包括職員	9
1/19	包括元気塾	多田羅・渡邊	8

延べ参加者数：17名

【和みの会】

介護予防サポーターが立ち上げた自主運営サロンで月2回定期的開催

- ・実施場所：8区自治会館
- ・実施回数：2回

開催日	内 容	講 師	参加者数
7/7	包括元気塾 チョイキタ体操	包括職員	13
1/26	ゲーム	桜サポーター会	9

延べ参加者数：22名

【輝楽めきサークル】

介護予防サポーターが立ち上げた自主運営サロンで月2回定期的開催

- ・実施場所：天霧団地自治会館
- ・実施回数：3回

開催日	内 容	講 師	参加者数
6/22	包括元気塾	多田羅・平野	11
7/27	包括元気塾 チョイキタ体操	包括職員	12
8/24	くらしのセミナー：財務省の経済ノート	香川県消費生活センター	11

延べ参加者数：34名

【その他介護予防普及啓発事業】

開催日	内 容	講 師	会 場	参加者数
5/17	包括元気塾	包括職員	ひだまり	5

(2) 介護予防普及啓発事業（一般高齢者運動器の機能向上事業）

高齢者が、運動による体力の向上、地域の交流の促進及び介護予防の普及啓発を行うことにより、要介護状態となることを予防するとともに、地域における自発的な介護予防に資する活動を推進し、心豊かに生きがいのある生活を送ることができることを目的とし、各行事を開催した。

【いきいき健康体操】

- ・講 師：青木 美穂
- ・実施場所：老人健康施設「湯楽里」
- ・実施回数：12回

開催日	4/21	5/19	6/16	7/21	8/18	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/16	3/16
参加者数	13	16	13	9	12	11	14	13	14	11	10	13

延べ参加者数：149名

【男の料理教室】

- ・講 師：多度津町健康福祉課 管理栄養士：三井 香那恵、門井 吾子
- ・実施場所：町民健康センター2階 キッチンルーム
- ・実施回数：6回

開催日	10/14	11/11	12/9	1/13	2/10	3/10
参加者数	12	12	11	9	12	12

延べ参加者数：68名

【いきいきシニアの応援講座】

○体いきいき健康体操

- ・講 師：メディフィットプラス
- ・実施場所：老人健康施設「湯楽里」
- ・実施回数：12回

開催日	4/1	5/20	6/30	7/1	8/5	9/2	10/7	11/4	12/2	1/6	2/3	3/3
参加者数	11	14	10	7	9	7	8	11	7	8	9	11

延べ参加者数：112名

○脳と体を元気にする体操

- ・講 師：中村 淳子（高齢者体操初級指導員）
- ・実施場所：老人健康施設「湯楽里」
- ・実施回数：12回

開催日	4/14	5/12	6/9	7/14	8/25	9/8	10/13	11/10	12/8	1/12	2/9	3/9
参加者数	18	19	27	中止	19	15	25	19	23	23	19	21

延べ参加者数：228名

7月14日は、新型コロナウイルス感染拡大防止で湯楽里が休館のため、中止。

1月12日は、講師の中村氏の都合により、吉田美由紀氏に交代して実施。

○ボディ・コンディショニング教室

- ・講師：杉浦 ひろみ（健康運動指導士）
- ・実施場所：老人健康施設「湯楽里」
- ・実施回数：17回

開催日	4/18	5/9	5/23	6/20	7/4	8/1	8/22	9/5	10/3
参加者数	26	32	23	24	22	25	22	24	28
開催日	10/24	11/21	12/12	1/23	2/6	2/20	3/6	3/20	
参加者数	31	24	24	24	30	28	32	25	

延べ参加者数：444名

(3) 地域介護予防活動支援事業等

【輝^{きら}楽^{ライフ}めき人生講座(介護予防サポーター養成講座)】

介護予防に関するボランティア等の人材養成のための研修を実施し、現在の活動紹介等を行うことで育成支援を支援した。

開催日	内容	講師	出席者数
10/28	オリエンテーション	包括職員	7
	地域包括支援センターを知ろう		
	来てGO やってGO チョイキタ体操		
11/4	しっかり食べて 理想の体を保とう	町健康福祉課	6
	今日からできる健口生活	青木 まゆみ	
	～オーラルフレイルってなに?～		
11/9	認知症の理解と関わり	包括職員	5
	～私にもできること～		
	来てGO やってGO チョイキタ体操		
11/15	あなたの輝 ^{きら} 楽 ^{ライフ} めき人生プラン	コンディショニングトレーナー 杉浦 ひろみ	5
	介護予防サポーター活動紹介・交流会	桜サポーター会	
	修了式		

- ・延べ参加者数 : 23名
- ・新規実参加者数 : 7名
- ・介護予防サポーター登録者数 : 5名

【介護予防サポーターフォローアップ研修】

「新聞紙を使って楽しくゲームをしよう」をテーマに介護予防サポーターが講師となり、新聞紙を使ったレクリエーションを学んだ。

開催日	2/13	3/13
参加人数	15	14

【介護予防サポーター活動状況】

事業名	内容	活動数	活動者数
定例会	活動に関する話し合い	12	155
すまいるライフ教室	教室のサポート	36	72
じっくり教室		23	46
わくわく教室		23	46
さくら倶楽部		33	66
さくら倶楽部フォローアップ教室		20	40
サロン活動		脳トレ、ゲームの講師	6
施設活動	桃陵苑慰問	休止	
	かざみ鳥慰問	休止	
	湯楽里でカレンダー作りサポート	12	29

延べ活動者数：487名

- ※ 事業として把握している内容を上記にまとめた。
活動リーダー会と定例会を月1回開催し、各活動の情報交換や今後の方向性について話し合う場としている。定例会後に会報を送付することで参加できなかったメンバーとの情報共有を行っている。

(4) 一般介護予防事業評価事業

【すまいるライフ教室・さくら倶楽部】

新型コロナウイルス感染予防対策として、玄関、各教室入口で検温・手指消毒・健康チェックを行った。ホールの換気や使用する物品の消毒を行い、感染防止対策の徹底を図るため、講師や介護予防サポーターの協力を得て、安全で円滑な教室運営に努めた。

すまいるライフ教室及びさくら倶楽部は、3コース実施した。

1コースの会場は、四箇地区いきがい健康館、2コース、3コースは、地域交流センターで行った。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による教室中止はなく、計画どおり実施することができた。参加者は、会場周辺地区の方が多く、夫婦で参加する方も増えた。

健康増進やトレーニング方法などに関心が高く、自宅でも継続的に取り組み、測定評価の改善につながった。また、参加者同士の仲間意識も芽生えたため、継続してフォロー教室に参加する方も多かった。

70歳代前半の参加者の中には、認知機能、身体機能ともに低下している方も数名おり、見守りや声かけを心掛けた。

町内回覧による申込が最多であったが、経験者や家族からの勧めや黄金クラブの案内の中に同封したチラシを見ての申込者もあり、広く周知することの必要性を感じた。

既存の教室参加者や介護予防サポーター未受講の方たちに参加を呼び掛けて、定員の半数以上の申込者が確保でき、健康寿命増進につなげることができた。

【サロン活動】

令和4年度は、計画通り開催できたサロンが多かった。

サロンの参加者が、主体的に外部講師に直接派遣を依頼し活動した箇所も増えた。

主体的な活動が継続的に実施できるよう、今後も必要な情報を提供し、自主性を高める関わりをしていきたい。

【新規事業】

「ミラクルチェンジ」「男・団・Dandy!」「ハッピー教室」「チョイキタチャレンジ」

「ミラクルチェンジ」は、コロナ禍のマスク生活での顔面・口周囲の衰え、見た目年齢の老化、口腔機能の低下などを感じる人たちが増えたため、それらの改善を応援する目的で企画した。心も体も健康な素敵な生活のきっかけとして、美しく楽しく変化し、今までの自分を脱するという意味も込めて教室名とした。理論実践の内容で即効性も体感でき、毎回参加される方も多く大好評であった。

「男・団・Dandy!」は、男性に外出や交流、健康づくりのきっかけとなるような講座が必要だと感じ企画した。同じテーマで集い、共に運動できる仲間を意味する教室名とした。主に有酸素運動、筋トレなど、男性が好みやすい内容としたことで、理論理解、仲間づくりにつながった。

両教室とも、すまいるライフ教室やさくら倶楽部への参加の引き金となった。

「ハッピー教室」は、地域包括支援センターの移転に伴い、フォローアップ教室のタクシー送迎を廃止したため、令和4年度5月から町内5か所の会場で、毎月1回運動教室を開催した。講師は、すまいるライフ教室やさくら倶楽部担当講師のほか、多度津町在住の講師にも協力得て、内容も好評であった。各会場とも徒歩や自転車で参加する方が多かった。

「チョイキタチャレンジ」は、チョイキタ体操の普及啓発目的として福祉センターで毎週1回×2ヶ月実施した。参加者からも好評であり、第三福寿会、多度津町婦人会グループではサロン活動として位置付けられ、毎月1回以上取り組んだ。

フォローアップリーダー研修会は、令和5年度以降に予定している。

2 包括的支援事業

介護予防ケアプラン作成、総合相談・支援（介護以外の生活支援サービスとの調整等）、支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言、地域のケアマネジャーのネットワーク作り、権利侵害の予防や対応、地域の高齢者が住みなれた地域で暮らすことができる地域の基盤を整えるとともに個々の介護支援専門員へのサポートに努めた。

【地域包括支援センター業務状況報告】

月別	総合相談		権利擁護に関する相談			総合相談及び権利擁護の相談のうち認知症に関する相談（再掲）		包括的・継続的ケアマネジメント				ケアプランにおける実動件数（訪問・電話・来所）
	件数	実人数	件数	実人数	成年後見制度の相談 実人数	65歳未満	65歳以上	ケアマネジャーからの相談		関係機関との連絡会等の回数		
4月	28	22	0	0	0	0	3	0	0	1	1	680
5月	23	17	0	0	0	0	1	0	0	1	1	708
6月	31	28	3	3	0	0	0	2	2	2	1	732
7月	38	32	3	3	0	0	0	0	0	4	1	711
8月	29	25	3	3	1	0	3	3	3	0	2	631
9月	35	32	3	3	0	0	0	1	1	1	1	749
10月	23	23	0	0	0	0	0	0	0	4	1	707
11月	34	33	0	0	0	0	4	1	1	2	1	685
12月	19	19	1	1	0	0	0	0	0	1	1	771
1月	21	21	0	0	0	0	2	0	0	1	1	695
2月	21	20	1	1	0	0	4	0	0	2	1	720
3月	21	21	1	1	0	0	4	0	0	4	1	668
合計	323	293	15	15	1	0	21	7	7	23	13	8,457

【多度津町居宅介護支援専門員研修会】

開催日	内容	参加者数
7/14	ケアマネジャーとしての接遇マナー	19
11/10	ターミナルケアについて	24
3/10	みんなどうしてる？ケアマネジメント ～知りたい！話したい！聞きたい！～	22

【多度津町内主任介護支援専門員及び管理者会】

居宅介護支援専門員研修会の研修内容を協議したり、地域における課題の検討や情報共有等を図ることを目的に開催している。

開催日	内容	参加者数
7/14	地域課題について検討	9
11/10	情報交換及び情報共有	10
3/10	次年度研修会の内容について 他周知事項等について	9

【権利擁護に関する普及啓発活動】

各地域で行われているサロン等に社会福祉士が出向き、高齢者虐待や消費者被害に関する内容を含んだ講座を行う事で普及啓発をはかる。

開催日	内 容	会 場	参加者数
4/21	こんな心配はありませんか？	東白方本村自治会館	6
5/17	こんな心配はありませんか？	ひだまり	6
5/19	こんな心配はありませんか？	桃陵大学（白方公民館）	16
7/7	こんな心配はありませんか？	8区公民館	13
9/8	こんな心配はありませんか？	多度津地区婦人会健康学級	9
1/19	こんな心配はありませんか？	桜川東団地集会場	8
2/20	こんな心配はありませんか？	多度津地区社協ふれあいいいきいきサロン	23
2/24	こんな心配はありませんか？	東白方本村自治会館	5
2/27	こんな心配はありませんか？	四箇地区社協	22

延べ参加者数：108名

【民生委員・児童委員会との連携】

開催日	内 容	参加者数
12/22	地域包括支援センターについて	52

【地域包括ケア推進事業】

○地域包括ケアシステムに関する担当者会

開催日	4/11	5/16	6/21	7/11	8/1	9/6	10/20	11/22	12/12	1/11	2/13	3/14

【在宅医療・介護連携推進事業】

<ワーキンググループ会議>

開催日	5/6

<実施内容>

○医療介護連携運営推進会議

・新型コロナ感染拡大予防のため書面にて決議

○医療・介護関係者の多職種研修（会場参加とZ o o mを使用したオンライン参加）

開催日	内 容	講 師	参加者数
7/20	精神障がい者の意思決定について	株式会社 Faro 地域包括事業部部长 作業療法士 佐藤 祥 多度津町健康福祉課 精神保健福祉士 西谷 良佳	44
10/27	意思決定支援 第4弾 ～看取りの支援を通じてつながるために～	香川県立保健医学大学 保健医療学部教授 片山陽子	65
2/17	お薬とポリファーマシーについて知ろう	ミント調剤薬局 代表 代田 英覚	56

○家族がつながる人生ふりかえりノートの書き方講座

開催日	内 容	講 師	参加者数
3/ 6	終活の必要性	終活カウンセラー	19
3/13	愛の伝え方、引き継ぎ方	三木 佳代	17

○地域包括ケア講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催

【認知症施策推進事業】

<実施内容>

○認知症初期集中支援チーム員会議

開催日	4/12	3/14
検討事例	1	0
訪問回数	1	0

※5月～対象となる事例がないため未開催。

令和4年度は早期に介護サービスや医療につながるケースが多く、対象となる事例がなかった。

3月に検討会として会議を行った。今後も総合相談の訪問から対象を抽出し、しおかぜ病院と連携し検討していく。

○認知症地域支援推進員活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	4	0	4	2	0	1	6	12	1	2	10	1
実人数	4	0	3	2	0	1	6	9	1	2	8	1

○認知症早期発見・対応強化事業

運転免許の更新時の認知機能検査などで判明した認知症のおそれのある人のうち、支援を希望する方の情報を香川県及び香川県警察が各市町（地域包括支援センター）に提供し、提供された情報をもとに相談支援を行う。

	運転免許センターから受領した同意書数	同意書により初めて支援対象者を把握できたケース		介護保険に基づくサービス利用や地域包括支援センターでの支援等の履歴があったケース 実人数
		総合相談による支援(実人数)	初期集中支援チームによる支援(実人数)	
2月	1	1	0	0
3月	1	1	0	0
合計	2	2	0	0

○認知症サポーター養成事業

開催日	対象者	開催場所	参加者数
7/12	多度津中学2年生	多度津中学校	163
8/5	多度津地区四つ葉クラブ	多度津小学校	15
9/22	健康づくりセミナー	町民健康センター	22
11/11	輝楽めき人生講座	地域交流センター	6
11/19	多度津町民	地域交流センター	10
1/26	民生委員児童委員	地域交流センター	28

延べ参加者数：244名

【自立支援型地域ケア会議】

多職種（薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、主任介護支援専門員等）からのアドバイスを参考に要支援及び要介護者の自立支援に資するケアマネジメントとサービス提供の実現を目的に毎月開催している。

開催日	4/6	5/11	6/1	7/6	8/3	9/7	10/5	11/2	12/7	1/11	2/1	3/1
事例数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3
参加者数	12	15	13	14	14	13	12	12	15	14	13	13

延べ事例数：35件

延べ参加者数：160名

【地域ケア個別会議】

対応困難ケースについて、支援内容や方向性等について関係者等（担当介護支援専門員サービス事業所、民生委員、自治会長、生活支援コーディネーター、高齢者保険課、地域包括職員）で検討し、今後の支援につなげていくことを目的とし、随時開催している。

開催日	3/20
事例数	1
参加者数	6

【地域ケア推進会議】

地域包括ケアシステムを構築するために、保険、医療、福祉等の関係者が連携し、地域の課題について情報交換を行い、課題解決に向けた話し合いや政策立案を行う場として開催する会議である。

今回、「キーパーソンの居ない人を地域で受け止めるために必要な事」について関係者で意見交換等行った。

開催日	6/28
参加者数	31

3 任意事業

○ 家族介護支援事業

【家族介護継続支援事業】

おしどり会（認知症の方を支える介護者の会）

認知症のご家族を介護する介護者が集まり、悩みや疑問の相談や情報交換をする中で、日頃の介護のストレスや不安を解消することを目的として開催。ミニ講座や座談会などを行う。

実施場所：地域交流センター 1階ルーム1A

開催日	内容	講師	参加者数
5/13	座談会		6
6/24	振り込め詐欺の対策について&座談会	百十四銀行	5
8/19	お薬について&座談会	薬剤師 濱田 幸子	4
10/14	冬に向けて体力づくり&座談会	健康運動指導士 森 明美	7
12/9	座談会		6
2/10	お茶会		5

延べ参加者数：33名

27. 介護予防支援受託事業 《町委託事業》

指定介護予防支援事業所として、要介護認定で要支援 1～2 と判定された方の意思や意欲を尊重して介護予防ケアプランを作成し、予防給付のケアマネジメントに努めた。

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付	214	210	209	212	209	206	203	209	202	202	198	201	2,475
総合事業 ケアマネジメントA	80	79	79	77	74	79	81	75	75	72	71	73	915
総合事業 ケアマネジメントC	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	294	289	289	289	283	285	284	284	278	274	269	274	3,392

28. 法人後見事業 《町補助事業》

法人後見事業は、社会福祉法人による「地域における公益的な取組」として期待されるものである。認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な者の判断能力を補うため、本会が成年被後見人、被保佐人または被補助人の財産管理、身上監護を行い、本人に寄り添った「身上保護」を重視した権利を擁護する支援を行った。

令和4年度は施設入所から入院となり亡くなられた方が1名おられ、親族への財産の引継ぎ手続きを行い終了となった。

○対象件数 8件（後見：5件 保佐：3件）うち1件終了

○後見ネットかがわと連携による後見業務：対象件数 1件（保佐）

29. 成年後見制度利用促進受託事業 《町委託事業》

利用促進事業は、権利擁護支援が必要な人が早期の段階から相談ができ支援が受けられる仕組みをつくる事を目的とし、広報・相談の取り組みに加えて後見人等の受任者調整を含めた制度の利用促進や権利擁護サポーターの養成に努めた。

○相談対応

電話や対面での相談対応を行い、内容により個別相談会や実務者会のケース検討等につなげている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	0	0	0	3	0	0	1	0	3	2	1	11
実人数	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	1	7

○個別相談会（弁護士・司法書士・社会福祉士 いずれかの専門職による）

制度の普及啓発に努め、気軽に相談できる窓口を設置し、専門職による個別相談などを行った。

開催日	4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/17
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1

延べ人数：5名

○実務者会

権利擁護支援に関する相談窓口である健康福祉課、高齢者保険課、社協（地域包括支援センター、地域福祉課）と三士会（弁護士、司法書士、社会福祉士）が集まり、多度津町の権利擁護関連の情報共有、ケース検討を行った。検討ケースは3件についての成年後見制度の必要性を検討し、うち2名は町長申立により成年後見制度につながった。

開催日	内容	参加者数
4/27	各窓口の情報共有／ケース検討1件	9
7/27	各窓口の情報共有／セミナーの報告／個別相談会等の周知について	5
8/24	各窓口の情報共有／セミナーの報告／人材育成、フォローアップ体制について	7
9/28	各窓口の情報共有／人材育成、フォローアップ体制について／広報周知について	7
10/26	各窓口の情報共有／ケース検討1件	9
11/30	個別相談の報告／各窓口の情報共有／広報・相談機能強化について	7
12/28	各窓口の情報共有／チーム会議について	6
1/25	個別相談の報告／各窓口の情報共有／ケース検討1件	7
2/22	個別相談の報告／各窓口の情報共有／ケース検討1件（1月と同ケース）	8
3/22	各窓口の情報共有／令和5年度の成年後見部会について	7

○広報啓発

制度に関する相談のきっかけとなるよう、町内の福祉施設・金融機関・医療機関・相談支援機関等へ「個別相談会」のチラシを送付し、町広報と社協だよりに掲載した。また、支援者の立場となる民生委員やケアマネジャー、施設職員等に後見人の役割について理解を深めてもらう機会として、社会福祉士を講師とする講演会を開催した。

■成年後見制度のあれこれ 地域の支援者向け 知っておきたい たいせつな話

開催日：令和4年12月7日（水）10時～11時30分

会場：多度津町地域交流センター Zoom

参加人数：36名

内容：社会福祉士による 成年後見制度の役割「できる事、できない事」等

○人材育成

自身の将来や地域の権利擁護について、考えるきっかけづくりのためのセミナーと市民後見人育成の前段階である権利擁護サポーター養成講座を1市3町合同で行った。

■「私らしく生きるために今できること」を考えるセミナー

開催日：令和4年8月17日（水）14時～16時

会場：善通寺市役所

参加人数：42名（多度津町参加者16名）

内容：弁護士による「任意後見」「成年後見制度」の説明、終活と相続について基礎知識

■中讃西圏域権利擁護サポーター養成講座（全2回）

開催日：令和4年10月31日（月）14時～16時

令和4年11月7日（月）14時～16時

会場：善通寺市役所

参加人数：31名（多度津町参加者2名）

内容：弁護士による「権利擁護」と制度について

市民後見人活動報告

対象者の理解と支援の際に心がけること（認知症の方・障がいのある方）